

文部科学省

大学等を通じたキャリア形成支援による  
幼児教育の「職」の魅力向上・発信事業

(「職」の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業)

# 調査報告書

2024年2月

# 目次

はじめに	1
研究Ⅰ 小学生・中学生・高校生を対象とした模擬授業や 保育体験による幼児教育の「職」の魅力発信	4
1 研究目的	5
2 研究方法	5
(1) 調査対象	5
(2) 調査方法	6
(3) 調査内容	6
(4) 倫理的配慮	7
3 結果と考察	8
(1) 学年別にみた幼稚園教諭志望時期と志望理由	8
(2) 学年別・幼稚園教諭志望別にみた模擬授業の評価と幼稚園教諭の魅力	12
(3) 中学生における模擬授業と保育体験の評価の比較	17
研究Ⅱ 高校生を対象としたメタバースによる幼児教育の「職」の魅力発信	18
1 研究の目的	19
2 研究方法	20
(1) 調査対象	20
(2) 調査方法	21
(3) 調査内容	21
(4) 倫理的配慮	21

3 結果と考察	22
(1) メタバースの印象	22
(2) メタバースに参加して興味をもったこと	22
(3) メタバースに参加した感想（自由記述）	23
おわりに	25
引用文献	27
構 成 員	28
連携団体	28
謝 辞	29

は じ め に

本研究は、養成校入学前からの幼児教育の「職」の魅力発信のアプローチ方法の有効性を検証するものである。そのために、小学生・中学生・高校生を対象に、模擬授業や保育体験などのアクティブ・ラーニングを通して、幼児教育の意義や幼稚園教諭（保育士、保育教諭を含む。以下、同様。）の仕事の魅力を伝えるとともに、新しいツールとしてのメタバース空間の可能性について考える。

小・中学生の将来なりたい職業に関する調査（第一生命保険株式会社、日本FP協会調査など）によると、幼稚園教諭は常に上位にランクされている。しかし、不適切保育などの報道は、幼稚園教諭になりたい子どもたちの進路選択に悪い影響を及ぼしている可能性がある。幼児教育の「仕事」の魅力を伝えることで、素直に受け入れない見方や固定的な考え方を変えることができ、早い段階から幼児教育の重要性や幼稚園教諭のさまざまな役割に関心をもつことは、子どもたちの視野をひろげ、将来の進路選択に役立つと考えられる。

中学校家庭科の内容の取扱いには「幼稚園、保育所、認定こども園などの幼児の観察や幼児との触れ合いができるよう留意すること」、高等学校家庭科の内容の取扱いには「子供の表現活動や子育て支援について、具体的に理解できるよう、幼稚園、保育所、認定こども園及び地域の子育て支援関連施設などと連携を図り、単に子供と触れ合うだけでなく、綿密な計画に基づき幼稚園教諭の視点をもった実習を行うことができるよう指導を工夫すること」とあるように、中学校や高等学校の家庭科において、生徒は幼児教育に関する学習や乳幼児との触れ合い体験を行っている。

このような保育体験については、すでに多くの研究がなされている。例えば、砂上・日景・中嶋・盛（2005）は、高校家庭科保育体験について、生徒の感想文を分析し、幼児と関わる中で「嬉しい」「驚き」「大変さ」などの情動的経験、「過去の自分」「現在の自分」「未来の自分」を見つめる自己省察など多様な経験をしていることなどを明らかにしている。扇原・叶内・潘（2019）は、中学生における保育体験学習の前後を量的・質的の両面から比較し、学習前は乳幼児との遊びや会話を楽しみにしているが、学習後は乳幼児からの乱暴・性的な行動や発話、消毒や布団を畳む作業などが嫌だったことなどを報告している。両者に共通しているのは、子どもと関わることは「楽しい」だけでなく、「大変さ」も感じていることである。このように幼児教育の「職」の魅力発信する際には、幼児教育の楽しさを前面に出すだけでなく、それには重要な役割と責任が伴うという現実も伝える必要があるのではないだろうか。

本研究のプロジェクトは、幼児教育の「職」の魅力を発信する方法の一つとして、メタバ

ス空間の構築を試みようとしている。メタバースとは、meta（超）+universe（宇宙）の造語で、「リアルタイムに大規模多数の人が参加してコミュニケーションと経済活動ができるオンラインの三次元仮想空間」（バーチャル美少女ねむ、2022）である。バーチャル美少女ねむ（2022）によると、①空間性、②自己同一性、③大規模同時接続性、④創造性、⑤経済性、⑥アクセス性、⑦没入性の 7 つの要件を満たす仮想世界をメタバースと定義している。メタバースのメリットとしては、物理的制限の解放、物理的移動の必要がないこと、フラットな人間関係（アバター）が成立していることが挙げられる（波多間,2022）。インターネットを介した幼児教育の「職」の魅力の発信だけなら、動画配信サイトやウェブページで十分である。しかし、メタバースは「見る」というよりも、「いる」感覚に近いところに特徴がある（波多間,2022）。

メタバースの教育利用に関する研究は極めて少ないが、大学の情報教育で Second Life を用いた授業実践（小川・新井、2010）、メタバースを活用した海外留学の試み（宮本、2022）、情報や 3D モデリングなどの授業での学びを統合した社会貢献の取り組み（横山ら、2023）などがある。これらの実践事例をみると、メタバースを活用することによって、学生の動機付けになったり、創造的な活動を促したり、グローバルな学びができるようである。

本研究は、幼児教育の「職」の魅力発信プロジェクトの一環として、小学生から高校生までの児童・生徒を対象に、模擬授業や保育体験の学習効果を探るとともに、メタバース活用の可能性について検討することを目的とする。具体的には、以下の 2 つの研究を行う。

**研究Ⅰ：**小学生から高校生までの児童・生徒を対象に、オープンキャンパスや出前授業などで幼児教育に関する模擬授業や保育体験などのアクティブ・ラーニングを実施し、その学習効果や有効性を web アンケート調査によって明らかにする。

**研究Ⅱ：**幼児教育の職業の魅力を伝えるメタバース空間を開発し、高校生を対象にメタバースに参加してもらい、その学習効果や有効性を web アンケート調査によって検討する。

研究Ⅰ 小学生・中学生・高校生を対象とした模擬授業や  
保育体験による幼児教育の「職」の魅力発信

## 1 研究目的

模擬授業は、「幼稚園で待ってるよ！ー幼児を育てる仕事の楽しさとやりがいー」のテーマで、導入の集団遊びを体験することで、遊びを通しての指導が幼児期の発達を促す効果を理解したり、保育実践の動画を視聴することで、多様な遊びが意図的・計画的な環境構成と指導で展開される様子を理解したりすることを目的としている。中学生を対象とした保育体験は、実際に幼稚園の幼児と触れ合ったり、絵本を読んだりすることによって、幼児との関わりや幼稚園教諭の役割を理解することを目的としている。

## 2 研究方法

### (1) 調査対象

調査対象となった小学生・中学生・高校生の内訳は、表1のとおりである。

#### ①小学生対象

A 小学校5年生(2023年10月3日)、B 小学校6年生(2023年10月3日)を対象に「総合的な学習の時間」(45分)において模擬授業を行った。

#### ②中学生対象

- a C 中学校の3年生を対象に「総合的な学習の時間」(45分)において、模擬授業(2023年10月30日)を行った。
- b aと同じ対象の中学生に、「総合的な学習の時間」(45分)において、D 幼稚園において保育体験(2023年12月6日)を行った。

#### ③高校生対象

- a 本学の授業体験(2023年7月21日~27日「1日鳴教大生」)に参加の高校生。
- b オープンキャンパスにおける模擬授業「遊びのワークショップ」(2023年7月29日)に参加の高校生。
- c E 高等学校の模擬授業(2023年11月28日)に参加の高校生。

表 1 学年別・性別にみた調査対象者（数値は人）

	女性	男性	無回答	合計
小学 5 年生	49	48	0	97
小学 6 年生	10	11	0	21
計	59	59	0	118
中学 3 年生	模擬授業	60	5	124
	保育体験	54	3	110
計	112	114	8	234
高校 1 年生	20	1	0	21
高校 2 年生	26	1	0	27
高校 3 年生	27	1	0	28
計	73	3	0	76
合計	244	176	8	428

## （2）調査方法

小学生・中学生は、学校で使用している自分のタブレットから URL へアクセスして回答してもらった。高校生は、自分の携帯電話などの端末から QR コードを読み取って web 上で回答してもらった。

## （3）調査内容

### ① 模擬授業の感想

「本日の授業に参加して、あなたが興味をもったことは何ですか？」の質問に対して、「幼児の心や気持ち」「幼児の発達・成長」「遊びのおもしろさ」「幼稚園の先生からの幼児に対する言葉かけや対応など」「幼稚園の先生の笑顔」「幼稚園での過ごし方（あいさつ、片付け、ルールなど）」「その他」から複数選択（表 4 参照）。

## ②幼稚園教諭の魅力

「もし幼稚園の先生になるとしたら、あなたが魅力に感じる事、興味があると思うことは何ですか？」の質問に対して、「絵本を読むこと」「ピアノを弾いたり、歌ったりすること」「ダンスをしたり、運動したりすること」「絵を描いたり、工作したりすること」「植物を育てたり、虫取りをしたりすること」など17項目から複数選択（表5参照）。

## ③幼稚園教諭志望

「将来、幼稚園の先生になりたいという希望はありますか？」の質問に対して、「なりたい」「少しなりたい」と答えた場合、志望時期（「小さいころから」「小学生から」「中学生から」「高校生から」）と志望の理由（「他にしたい仕事があるから」「幼稚園の先生の仕事をあまり知らないから」など8項目から複数選択）を尋ねた（図1参照）。「なりたくない」「わからない」と回答した者には、その理由（「他にしたい仕事があるから」「幼稚園の先生の仕事をあまり知らないから」など8項目から複数選択）を尋ねた（図2参照）。

## （4）倫理的配慮

Webアンケート調査では、統計的に処理されること、研究の資料として使用すること、個人の情報が特定されることはないことなどを説明した。アンケートに回答する前に、協力することへの同意（「協力します」）について確認し、「協力しません」を選択した場合は、調査を終了するように設定した。

### 3 結果と考察

#### (1) 学年別にみた幼稚園教諭志望時期と志望理由

表 2 は、学年別にみた幼稚園教諭志望の割合である。幼稚園教諭志望の割合について学年差があるかどうかを検証するために、カイ二乗検定を行ったところ、有意差がみられた ( $\chi^2(6) = 134.86, p < .01, V = .46$ )。さらに、残差分析を行ったところ、小学生は「少しなりたい」「なりたくない」の割合が有意に多く、「なりたい」「わからない」が有意に少ない ( $p < .05$ ) という両極端の結果である。中学生は「なりたい」「少しなりたい」が有意に少なかった ( $p < .05$ )。高校生は「なりたい」が 56.6%と有意に多く、「わからない」(15.8%), 「なりたくない」(0.0%) は有意に少なかった ( $p < .05$ )。高校生は授業体験やオープンキャンパスに参加する人たちだけあって幼稚園教諭志望の意識が高かった。小学生は「なりたい」「少しなりたい」を合わせると 51.7%と約半数いるのに対して、中学生は 29.0%と 3 割以下まで減ることが明らかになった。

幼稚園教諭志望の時期を見てみると、小学生は「小学生から」が 86.0%, 中学生は「中学生から」が 57.6%と最も多かった (表 3)。高校生も「中学生から」が 37.5%と最も多く、次いで「小さいころから」「高校生から」がそれぞれ 25.0%であった。中学生と高校生は「中学生から」が最も多いという結果であった。民間の調査と同様に、幼稚園教諭を志望する者が小さいころから一定数存在することも、本調査の結果からうなずける。

次に幼稚園教諭志望の理由について学年差があるかどうかを検証する。幼稚園教諭志望の理由の設問は複数選択であったため、2 (選択した・選択しない)  $\times$  3 学年 (小学生・中学生・高校生) について、カイ二乗検定を行った。図 1 は、選択した割合 (選択率) のみ示している。その結果、「幼児と一緒に遊ぶのが楽しい」に有意差が認められた ( $\chi^2(2) = 7.28, p < .05, V = .21$ )。さらに、残差分析を行ったところ、高校生の選択率が有意に高かった ( $p < .05$ )。「幼稚園が楽しかった」にも有意差 ( $\chi^2(2) = 20.31, p < .01, V = .36$ ) が認められ、小学生の選択率が有意に高く、高校生は有意に低かった ( $p < .01$ )。「幼稚園の先生がやさしかった」にも有意差 ( $\chi^2(2) = 9.19, p < .05, V = .24$ ) があり、残差分析を行ったところ、小学生の選択率が有意に高く、高校生は有意に低かった ( $p < .05$ )。「家族や親族など身近に幼稚園の先生がいる」にも有意差 ( $\chi^2(2) = 10.22, p < .01, V = .25$ ) が認められ、高校生の選択率が有意に高く、小学生は有意に低かった ( $p < .01$ )。「職業体験活動に興味をもった」にも有意差 ( $\chi^2$

(2) =7.63,  $p<.05$ ,  $V=.22$ ) があり, 残差分析を行ったところ, 高校生の選択率が有意に高かった ( $p<.05$ )。

次に幼稚園教諭志望に「なりたくない」「わからない」と回答した理由について学年差があるかどうかを検証するために, カイ二乗検定を行った。その結果, 「他にしたい仕事があるから」にのみ有意差が認められた ( $\chi^2(2) =6.77$ ,  $p<.05$ ,  $V=.21$ )。残差分析を行ったところ, 小学生と中学生の選択率が有意に高かった ( $p<.05$ )。小学生では 86.0%が「他にしたい仕事があるから」を理由に挙げている。

以上, 幼稚園教諭志望の理由の結果をまとめると, 小学生は「幼稚園が楽しかった」「幼稚園の先生がやさしかった」など幼稚園の頃の印象が幼稚園教諭志望の動機につながっているのに対して, 高校生は「家族や親族など身近に幼稚園の先生がいる」ことが進路選択に影響を及ぼしていることや, 「職業体験活動で興味をもった」「幼児と一緒に遊ぶのが楽しい」という要因が大きいことがうかがえる。幼稚園教諭志望の時期について高校生は「中学生から」が最も多かったように, おそらく中学校における職場体験がきっかけになっている生徒もいる。したがって, 幼稚園時代のポジティブな経験が土台となり, さらに中学校の職場体験が幼稚園教諭志望の動機付けになる可能性を示している。

表2 学年別にみた幼稚園教諭志望の割合（数値は％）

学年	なりたい	少しなりたい	わからない	なりたくない
小学生（118名）	▽ 5.1%	▲46.6%	▽26.3%	▲22.0%
中学生（233名）	▽ 4.8%	▽24.2%	▲50.0%	21.0%
高校生（76名）	▲56.6%	27.6%	▽15.8%	▽ 0.0%

（▲有意に多い，▽有意に少ない， $p<.05$ ）

表3 学年別にみた幼稚園教諭志望時期の割合（数値は％）

学年	小さいころから	小学生から	中学生から	高校生から
小学生（57名）	14.0%	86.0%	-	-
中学生（59名）	22.0%	20.3%	57.6%	-
高校生（64名）	25.0%	12.5%	37.5%	25.0%

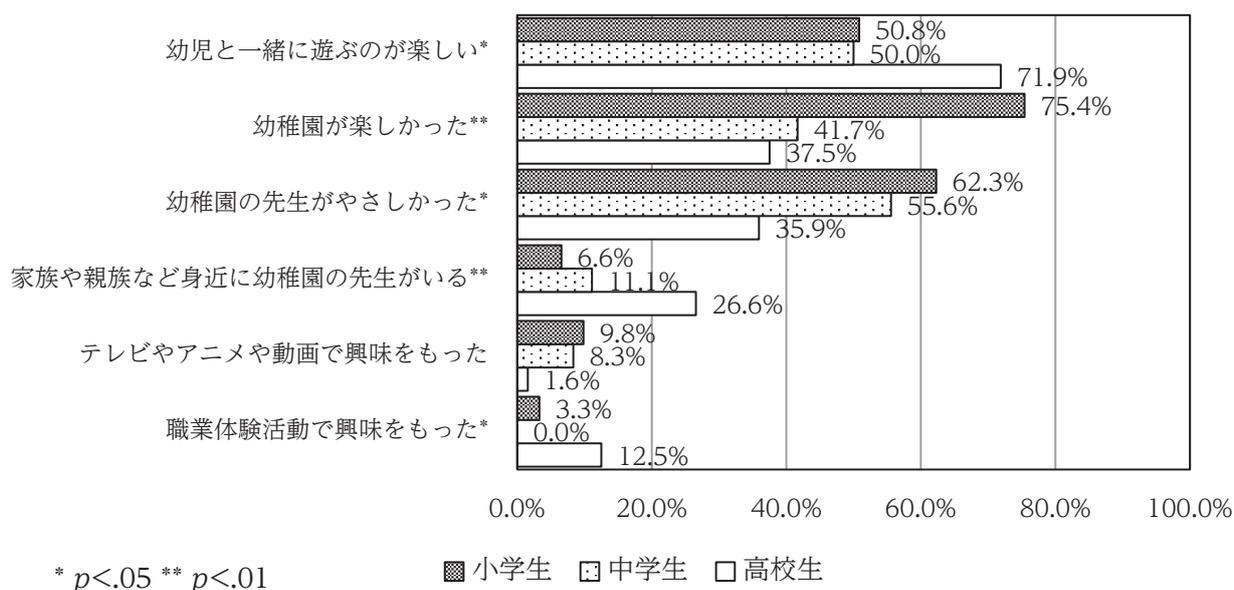


図1 学年別にみた幼稚園教諭志望のきっかけや理由（数値は選択率）

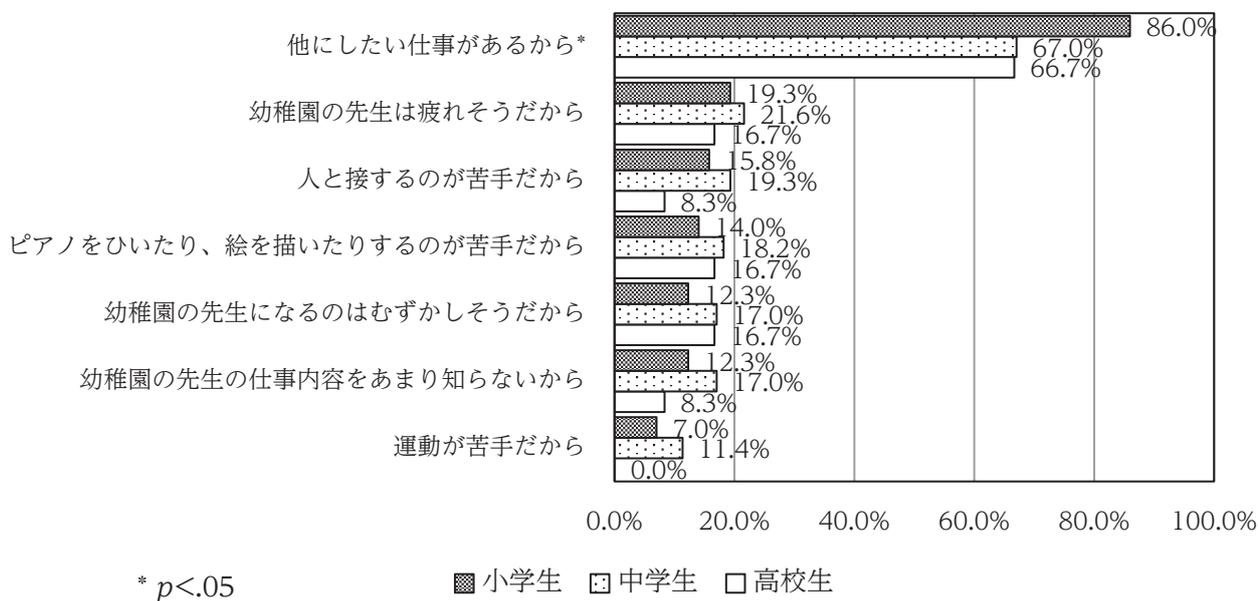


図2 学年別にみた幼稚園教諭志望になりたくない理由（数値は選択率）

## (2) 学年別・幼稚園教諭志望別にみた模擬授業の評価と幼稚園教諭の魅力

模擬授業については、「幼児の心や気持ち」「幼児の発達・成長」「遊びのおもしろさ」「幼稚園の先生からの幼児に対する言葉かけや対応など」の選択率が5割を超えていた。2人に1人は模擬授業を受けて興味をもったことになる。「幼稚園での過ごし方」は34.6%、「幼稚園の先生の笑顔」は27.7%であった。

しかし、これらは学年別、幼稚園教諭志望別に分析する必要がある。なぜなら、上記①の結果により、幼稚園教諭志望の有無がはっきりしていることや学年差が大きいことが明らかであったからである。

そこで、表2の「なりたい」「少しなりたい」と回答した者を幼稚園教諭「志望有り」群（小学生61名、中学生36名、高校生64名）、「なりたくない」「わからない」を「志望無し」群（小学生57名、中学生88名、高校生12名）とした。

授業に参加して興味をもったことについて、幼稚園教諭志望の有無と関連があるかを学年別に検証する。標本が小さいこともあり、フィッシャーの正確確率検定を用いた。複数選択可の設問であったため、2（選択した・選択しない）×2（幼稚園教諭「志望有り」・「志望無し」）の分割表を作成し、学年別にフィッシャーの正確確率検定を行った。表4には、選択した割合（選択率）のみを示している。

その結果、高校生において「幼稚園での過ごし方」にのみ有意差が認められた（ $p<.01$ ,  $V=.33$ ）。さらに、残差分析を行ったところ、高校生の「志望無し」群の選択率は有意に高く、「志望有り」群は有意に低かった（ $p<.01$ ）。高校生の「志望無し」群は、オープンキャンパス等に参加しながら幼稚園教諭に「なりたくない」「わからない」と回答した生徒である。「志望有り」群の高校生は、すでに幼稚園での過ごし方について、ある程度の知識や経験をもっている可能性がある。

なお、小学生や中学生においては、幼稚園教諭志望の有無に有意差はみられなかった。

表4 学年別・幼稚園教諭志望別にみた模擬授業に参加して興味をもったこと(数値は選択率)

質問項目	学年	志望無し	志望有り	<i>p</i>
幼児の心や気持ち	小学生	54.4%	52.5%	0.855
	中学生	42.0%	61.1%	0.074
	高校生	66.7%	67.2%	1.000
幼児の発達・成長	小学生	66.7%	75.4%	0.316
	中学生	58.0%	47.2%	0.323
	高校生	83.3%	65.6%	0.319
遊びのおもしろさ	小学生	52.6%	60.7%	0.458
	中学生	56.8%	69.4%	0.228
	高校生	83.3%	73.4%	0.719
幼稚園の先生からの幼児に対する言葉かけや対応など	小学生	47.4%	55.7%	0.461
	中学生	52.3%	66.7%	0.166
	高校生	75.0%	53.1%	0.212
幼稚園の先生の笑顔	小学生	17.5%	29.5%	0.137
	中学生	22.7%	25.0%	0.817
	高校生	58.3%	37.5%	0.211
幼稚園での過ごし方	小学生	40.4%	39.3%	1.000
	中学生	33.0%	41.7%	0.410
	高校生	▲58.3%	▽18.8%	0.008

(▲有意に多い, ▽有意に少ない,  $p<.05$ )

次に幼稚園教諭の魅力については、「幼児にやさしくかわること」「絵を描いたり、工作したりすること」「幼児の安全や健康を守ること」が5割を超える選択率であった。幼稚園教諭の魅力について、2（選択した・選択しない）×2（幼稚園教諭「志望有り」・「志望無し」）を学年別にフィッシャーの正確確率検定によって検討した。表5には、選択した割合（選択率）を示している。その結果、「絵本を読むこと」においては小学生（ $p<.05$ ,  $V=.21$ ）と中学生（ $p<.05$ ,  $V=.23$ ）に有意差が認められた。「幼児にやさしくかわること」においては、小学生（ $p<.05$ ,  $V=.24$ ）と中学生（ $p<.05$ ,  $V=.19$ ）に有意差が認められた。これらについて残差分析を行ったところ、いずれも「志望有り」群の選択率は有意に高く、「志望無し」群は有意に低かった（ $p<.05$ ）。「ピアノを弾いたり、歌ったりすること」においては、小学生（ $p<.05$ ,  $V=.20$ ）にのみ有意差が認められ、残差分析の結果、「志望有り」群の選択率は有意に高く、「志望無し」群は有意に低かった（ $p<.05$ ）。「絵を描いたり、工作したりすること」においては、小学生（ $p<.01$ ,  $V=.33$ ）にのみ有意差が認められ、「志望有り」群の選択率は有意に高く、「志望無し」群は有意に低かった（ $p<.01$ ）。先述の幼稚園教諭志望の理由の結果と関連して、「志望有り」群の小学生や中学生は、「絵本を読むこと」「幼児にやさしくかわること」などに幼稚園教諭のイメージをもっていることがうかがえる。「植物を育てたり、虫取りをしたりすること」については、高校生にのみ有意差が認められ（ $p<.05$ ,  $V=.29$ ）、幼児は、植物や虫を観察したり触れたりすることで、自然の不思議や命の尊さなどを学ぶ。高校生もそのことを理解していると考えられるが、残差分析の結果、「志望無し」群の選択率は50.0%と有意に高く、「志望有り」群の選択率は17.2%と有意に低かった（ $p<.05$ ）。

表5 学年別・幼稚園教諭志望別にみた幼稚園教諭の魅力や興味をもっていること  
(数値は選択率)

質問項目	学年	志望無し	志望有り	<i>p</i>
絵本を読むこと	小学生	▽29.8%	▲50.8%	0.025
	中学生	▽19.3%	▲41.7%	0.013
	高校生	50.0%	51.6%	1.000
ピアノを弾いたり，歌ったりすること	小学生	▽26.3%	▲45.9%	0.035
	中学生	22.7%	30.6%	0.370
	高校生	50.0%	60.9%	0.533
ダンスをしたり，運動したりすること	小学生	38.6%	55.7%	0.068
	中学生	65.9%	66.7%	1.000
	高校生	34.1%	33.3%	0.531
絵を描いたり，工作したりすること	小学生	▽50.9%	▲82.0%	0.000
	中学生	47.7%	44.4%	0.843
	高校生	66.7%	37.5%	0.108
植物を育てたり，虫取りをしたりすること	小学生	33.3%	49.2%	0.095
	中学生	22.7%	27.8%	0.645
	高校生	▲50.0%	▽17.2%	0.021
幼児にやさしくかかわること	小学生	▽56.1%	▲78.7%	0.011
	中学生	▽45.5%	▲66.7%	0.047
	高校生	83.3%	79.7%	1.000
幼児の気持ちを考えたり，想像したりすること	小学生	54.4%	67.2%	0.187
	中学生	38.6%	47.2%	0.424
	高校生	75.0%	70.3%	1.000
幼児の安全や健康を守ること	小学生	56.1%	73.8%	0.054
	中学生	36.4%	25.0%	0.294
	高校生	66.7%	54.7%	0.536

(▲有意に多い，▽有意に少ない， $p<.05$ )

質問項目	学年	志望無し	志望有り	<i>p</i>
幼児の役に立ったり，保護者のために何かをしたりすること	小学生	35.1%	49.2%	0.139
	中学生	20.5%	30.6%	0.248
	高校生	66.7%	46.9%	0.346
先生同士が協力したり，お家の人と協力したりする	小学生	42.1%	45.9%	0.714
	中学生	15.9%	27.8%	0.140
	高校生	50.0%	39.1%	0.533
生涯，働ける職業だから	小学生	22.8%	24.6%	0.832
	中学生	10.2%	13.9%	0.545
	高校生	41.7%	20.3%	0.141
幼稚園の先生になるための免許状をもつ	小学生	19.3%	29.5%	0.209
	中学生	15.9%	11.1%	0.585
	高校生	33.3%	40.6%	0.754
幼稚園の先生になるために大学等で勉強する	小学生	22.8%	29.5%	0.531
	中学生	13.6%	13.9%	1.000
	高校生	33.3%	34.4%	1.000
幼稚園の先生の勤務時間	小学生	33.3%	24.6%	0.316
	中学生	15.9%	13.9%	1.000
	高校生	33.3%	12.5%	0.089
幼稚園の先生の給与	小学生	31.6%	29.5%	0.843
	中学生	26.1%	11.1%	0.092
	高校生	33.3%	15.6%	0.217
幼稚園の先生の休暇	小学生	33.3%	21.3%	0.154
	中学生	75.0%	88.9%	0.095
	高校生	33.3%	23.4%	0.481

(▲有意に多い，▽有意に少ない， $p<.05$ )

### (3) 中学生における模擬授業と保育体験の評価の比較

中学生は、模擬授業と保育体験の両方を経験している。両者の評価に違いがあるか、2（選択した・選択しない）×2（模擬授業・保育体験）について、学年別にフィッシャーの正確確率検定を行った。図3は、選択した割合（選択率）のみ示している。その結果、「幼児の心や気持ち」（ $p<.01$ ,  $V=.18$ ）「幼稚園での過ごし方」（ $p<.01$ ,  $V=.24$ ）について有意差が認められた。残差分析の結果、「幼児の心や気持ち」と「幼稚園での過ごし方」の選択率は、模擬授業は有意に低く、保育体験は有意に高かった（ $p<.01$ ）。

保育体験は、幼児の心や気持ちに触れ、幼稚園での過ごし方を体験する機会になりやすいことがうかがえる。①の結果で明らかになったように、中学校時代の職場体験が幼稚園教諭志望の動機付けの要因になっていると考えられる。

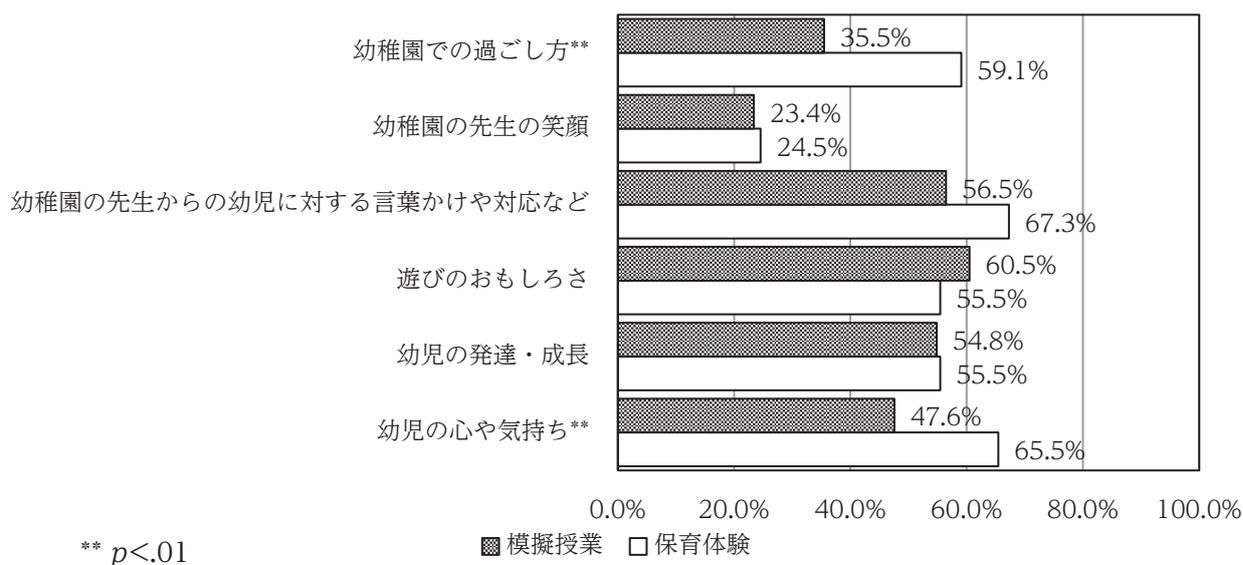


図3 模擬授業に参加して興味をもったことの模擬授業と保育体験の比較（数値は選択率）

研究Ⅱ 高校生を対象としたメタバースによる  
幼児教育の「職」の魅力発信

## 1 研究の目的

幼児教育の「職」の魅力を発信する方法の一つとして、森の幼稚園をイメージしたメタバース空間（『なるきょう めたばーす！ 森のようちえん』）を構築した（図 4）。メタバース空間には、①模擬授業を行う「保育室」、②1対1で保育の進路や悩み相談に応じる「個別相談室」、③多人数で話をオープンにできる「井戸端会議」のスペースがある。アバターは、親しみやすく動きのあるものとし、①園長・教頭、②子ども×2（男・女）、③大人×2（男・女）、④生徒×2（男・女）の8パターンある。対話機能としては、①チャット機能、②通話機能、③ビデオ通話機能、④画面共有機能がある。コンテンツは、①こどものつぶやき、②保育のおしごと（漫画）、③動画、④掲示板を用意し、定期的に更新するようにしている。

メタバースは3D（3次元）が一般的であるが、①ユーザー側に高性能端末が要求されること、②メタバース空間専用のアプリケーションをインストールする必要があること、③3D空間を自由に動き回るために操作に慣れる必要があること、④3Dゴーグルを装着することなどの問題がある。したがって、ユーザビリティに配慮し、本プロジェクトでは、2D（2次元）のメタバースを採用している。

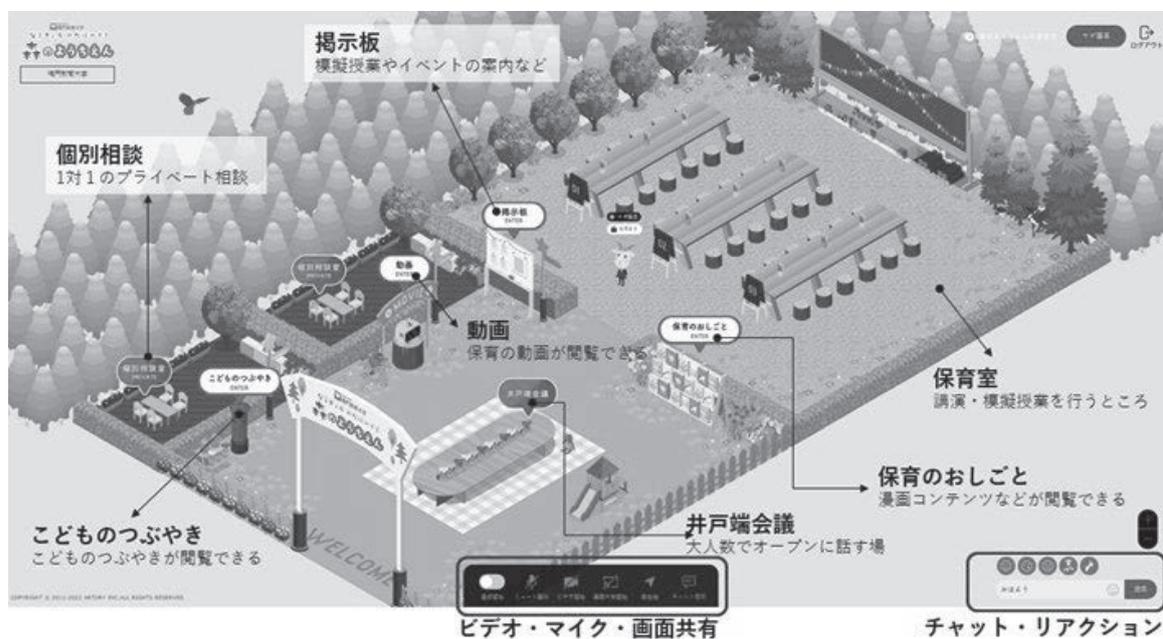


図 4 メタバース空間（『なるきょう めたばーす！ 森のようちえん』©ARTORY より）

## 2 研究方法

### (1) 調査対象

調査対象の内訳は、表 6 のとおりである。なお、大学生及び研究 I の授業体験や模擬授業に参加の高校生を比較対象としている。

#### ①高校生対象

- a 本学における幼児教育交流会（2023 年 11 月 18 日）に参加の高校生。
- b E 高等学校の模擬授業「幼稚園で待ってるよ！－幼児を育てる仕事の楽しさとやりがい－」（2023 年 11 月 18 日）に参加の高校生。
- c 模擬授業に参加の高校生：研究 I と同様。

#### ②大学生

- a 本学における幼児教育交流会（2023 年 11 月 18 日）に参加の大学生。
- b 保育者養成系の F 大学（2023 年 12 月 7 日）、G 大学（2023 年 12 月 8 日）における授業の受講の大学生（院生 1 名含む）。

表 6 学年別の調査対象者（数値は人）

	高校 1 年生	高校 2 年生	高校 3 年生	大学生	合計
メタバース	11	4	3	37	55
模擬授業	21	27	28	－	76

## (2) 調査方法

高校生・大学生には、携帯電話などの端末から掲示した QR コードやメタバース上の URL を読み取って web 上で回答してもらった。

## (3) 調査内容

① **模擬授業の感想**：研究 I と同様。

② **幼稚園教諭の魅力**：研究 I と同様。

③ **幼稚園教諭志望**：研究 I と同様。

### ④ **メタバースの印象**

「親しみやすい」「わかりやすい」「理解しやすい」など（**図 5** 参照）を「あてはまる」「ややあてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の 5 段階で尋ねた。

(4) **倫理的配慮**：研究 I と同様。

### 3 結果と考察

#### (1) メタバースの印象

図5はメタバースの印象について「あてはまる」の割合が高い順に並べた。「気楽に見られる」「短時間でも見られる」は「あてはまる」がそれぞれ8割を超え、「ややあてはまる」を合わせると100%である。「親しみやすい」も80%を超え、「ややあてはまる」を合わせると96.2%である。「分かりやすい」は「ややあてはまる」を合わせると4番目に高い(92.4%)。「操作しやすい」に関しては「あてはまる」が41.7%と最も低いが、「ややあてはまる」を合わせると約8割は肯定的な評価である。

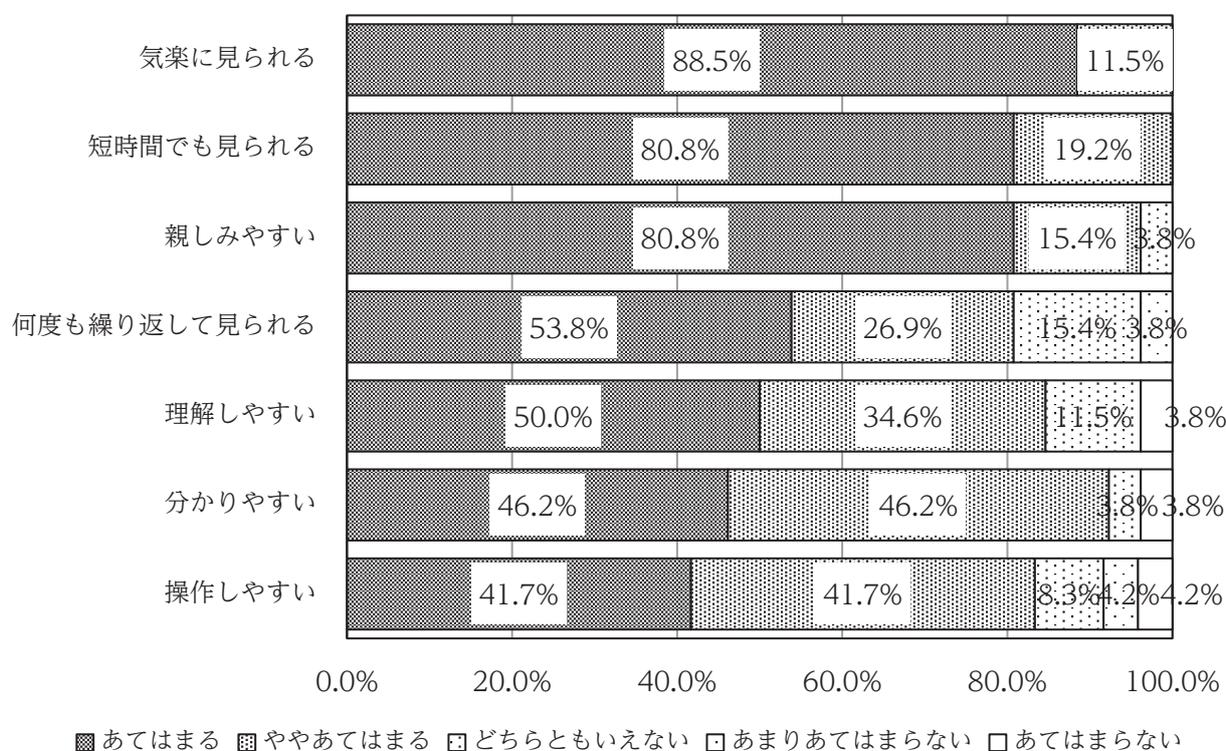


図5 メタバースの印象

#### (2) メタバースに参加して興味をもったこと

図6は、メタバースに参加して興味をもったことについての選択率である。メタバースに参加した高校生の選択率が高い順に並べた。メタバースに参加した高校生と、比較対象である大学生と模擬授業に参加した高校生の、三者の間に差があるかどうかを検証するために、カイ二乗検定を行った。その結果、「幼児の心や気持ち」( $\chi^2(2) = 7.73, p < .05, V = .24$ )、「幼



「可愛い」8回、「アバター」7回、「感じる」7回、「使う」7回、「面白い」7回、「人」6回、「知る」6回、「良い」6回、「交流」5回、「世界」5回、「操作」5回、「幼児教育」5回であった。メタバースに参加した高校生は、「アバターなどとても可愛く、幼稚園、保育園の先生の職業について興味や好奇心が沢山湧きました！（高校2年生）」、「可愛い世界観で操作していて楽しかったです（高校2年生）」、「子供の会話が見られる部分があって面白かった（高校2年生）」、「可愛い世界で色々情報を見ることができて便利だと思いました（高校3年生）」など、メタバースの「世界」「アバター」について「楽しい」「可愛い」「面白い」と形容している。「アバターで交流できるので、やりやすかったです（高校1年生）」、「アバターを使ってお話しできたり、交流をもてることができるととても楽しかったです！（高校3年生）」など交流できることや、「スマホを使った活動で色々学べて、より幼児教育の勉強をしたいと思えました！（高校3年生）」「簡単な操作で幼児教育について学べるのがすごく良いと思います！（高校1年生）」など「操作」が簡単であること、幼児教育に関する学びについても評価していた。

なお、「アバターのバリエーションをもう少し増やしたら面白いのではないか（大学生）」「いろんな人からの書き込みや、会議などが増えてくるともっと興味深いものになる（大学生）」など改善点に関する指摘もあった。

お わ り に

本研究は、幼児教育の「職」の魅力を発信する方法を探究することであり、その一環として、小学生・中学生・高校生を対象に模擬授業や保育体験及びメタバースの有効性を検証するために2つの研究を行った。

幼稚園教諭を志望する小学生は約半数であるが、中学生では3割以下まで減少すること、小学生の中には、幼稚園時代のポジティブな思い出が幼稚園教諭志望の動機となっている者もいる。小学生と中学生は、絵本を読むことや幼児にやさしく接することなどに幼稚園教諭の魅力をもっている。中学生は保育体験を通じて、幼児の心や気持ちに気づき、幼稚園での過ごし方を学ぶ機会が提供されることが明らかになった。高校生は、幼稚園教諭志望の動機として、近親者に保育者がいることや職業体験活動が要因になっていることが推測される。

幼児教育の魅力を伝えるメタバース空間は、「楽しい」「可愛い」「面白い」「気楽に見られる」「短時間でも見られる」「親しみやすい」と評価されている。操作性も良く、アバターを使って交流したり、幼児教育について学んだりすることもできる。メタバースは、時間や場所の制限を受けず、いつでもどこからでも誰でもアクセスできるため、今後ますます普及していくと考えられる。また、日本だけでなく、世界に向けて発信・交流できる可能性を秘めている。

しかし、高校生のメタバース利用については、保護者の同意を得て使用してもらうなど、プライバシーの保護や長時間のインターネット使用に最大限配慮した。小学生や中学生がメタバースを利用する際には、セキュリティ等さらに強化する対策が必要である。

今後の展開としては、卒業生や新人保育者を対象に、メタバースを活用した交流、保育相談、実践的な研修などを実施していきたい。これにより、キャリアアップや離職防止に役立てられると考えている。また、「幼稚園教諭育成指標モデル」に基づき、中学校・高等学校の家庭科担当教諭と連携して、幼児教育に関する高大連携・接続カリキュラムを創出し、幼稚園教諭の資質・能力や幼児教育の質の向上に貢献したいと考えている。

## 引用文献

- ・ 波多間俊之『図解まるわかり メタバースのしくみ』翔泳社, 2022年
- ・ 樋口耕一『社会調査のための計量テキスト分析 —内容分析の継承と発展を目指して— 第2版』ナカニシヤ出版, 2020年
- ・ 松本武洋「義務教育における Web 会議システム, メタバースを活用した不登校児童生徒支援の現在地—熊本市, 埼玉県戸田市, 東京都/新宿区を事例として—」『安田学術研究論集』(52), 2023年, 31-38
- ・ 宮本真有「いつもの教室で「留学」体験! メタバースを活用した言語教育の試み—「バーチャル・キャンパスツアー」を通して—」『名古屋外国語大学論集』11, 2022年, 177-193
- ・ 扇原貴志・叶内茜・潘智恵「中学生における保育体験学習の効果と学習への感情」『日本家政学会誌』70(11), 2019年, 715-727
- ・ 小川真里江・新井正一「メタバースを活用した授業」『コンピュータ&エデュケーション』28, 2010年, 45-48
- ・ 砂上史子・日景弥生・中嶋明子・盛玲子「高校家庭科における保育体験学習者の意識変容(第2報):生徒の感想文にみる保育体験学習者の経験内容の分析」『日本家庭科教育学会誌』48(1), 2005年, 10-21
- ・ 横山隆光・松川禮子・久世均櫟・彩見谷里佐・林知代・瀬戸敦子「メタバースに造った大学と観光地における学びの一試行」『岐阜女子大学紀要』(52), 2023年, 1-7
- ・ バーチャル美少女ねむ『メタバース進化論—仮想現実の荒野に芽吹く「解放」と「創造」の新世界』技術評論社 2022年

## 構成員

美馬 持仁	鳴門教育大学理事（地域連携・附属学校担当）【主査】
塩路 晶子	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授（幼児教育学・保育内容）
佐々木 晃	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授（幼児教育学）
田村 隆宏	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授（幼児心理学）
湯地 宏樹	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授（幼児教育学）
木村 直子	鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授（子ども家庭福祉）
勝浦 千晶	鳴門教育大学附属幼稚園園長
藤川佳余子	鳴門教育大学附属幼稚園教諭
盛岡 舞子	徳島県保育・幼児教育センター事務局 県徳島県教育委員会指導主事
湯地 由美	四国大学児童学科准教授（幼児教育学・保育内容）
山越 明	徳島文理大学短期大学部准教授（幼児教育学・保育内容）
松家 敬子	徳島県国公立幼稚園・こども園長会会長
木内 啓嗣	徳島県私立幼稚園・認定こども園協会会長

## 連携団体

徳島県保育・幼児教育センター事務局

徳島県国公立幼稚園・こども園長会

徳島県私立幼稚園・認定こども園協会

## 謝辞

本プロジェクトは、文部科学省「大学等を通じたキャリア形成支援による幼児教育の「職」の魅力向上・発信事業（幼児教育の「職」の魅力発信・向上事業）」における「『職』の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業」に採択されたものである。

なお、本報告書は、第10回日中教師教育学術研究集会プロシーディングを加筆修正したものである。

令和6年2月発行

文部科学省

大学等を通じたキャリア形成支援による  
幼児教育の「職」の魅力向上・発信事業

（「職」の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業）

調査報告書

発行者 国立大学法人 鳴門教育大学

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地

電話番号 088-687-6101（鳴門教育大学教務部学術情報推進課教育連携企画係）

E-mail youji@naruto-u.ac.jp（鳴門教育大学大学院学校教育研究科 幼児教育コース）

印刷 協業組合 徳島印刷センター

〒770-8056 徳島県徳島市問屋町 165

電話番号 088-625-0135